

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 12 月 13 日)

【二〇】子貢 問いて曰く、如何なるを斯れ之を士と謂うべきと。子曰く、己を行うに恥
あり、四方に使用して君命を辱めざるを、士と謂うべしと。曰く、敢て其の次を問うと。曰
く、宗族 孝を称し、郷党 弟を証すと。曰く、敢て其の次を問うと。曰く、言は必ず
信あり、行は必ず果す。蹉蹉然として小人なるかな。抑も亦 以て次と為すべしと。曰く、
今の 政に従う者は如何と。子曰く、噫、斗筭の人、何ぞ算うるに足らんやと。

子貢が、孔子に質問をしました。「どういう人物を士といますか」

「士」は難しいですが、日本流に言えば武士・侍というようなものでしょう。

一士大夫ですか？

士大夫という言い方もしますが、志士という言い方もします。日本流に言えば侍という
言い方で良いと思います。日本でも士分の士を取って「我は士なり」という言い方を明治
維新の頃は使っていました。

どういう条件を揃えたら、士（本物の人物）というべきでしょうか。孔子が答えて、「自
分で行動をするとき、恥を知って美德を発揮するのが良い」あちらこちら外国に出掛けて
行って役目をきちんと果たしてくるような人物と思えばよいでしょう。

今でしたら、ケネディさんでしょうか。日本にやって来て力を発揮しつつあるという
ところですから、よいところかなと思います。日本でも同じように他国へ出掛けて立派に役
割を果たすという人は、なかなかいない。森元総理大臣は出掛けて行って相手に迎合する
ということがありますから、逆の動きをしているのではないかなという気がします。

「四方に使用して君命を辱めざるを、士と謂うべしと」、あちらこちらの国々に、君主の
代理で出掛け、役目をきちんと果たしてくる人が人物といえるであろう。さらに子貢がお
尋ねをしました。「それは理想でしょう。そこまでいかなかったら第二の条件は何でしょう」
とお聞きしました。孔子曰く「親戚から親孝行だといわれ、故郷の人々から、たいしたもの
のだといわれる。そういう風に褒められるようになれば、これはよいだろう」また子貢が
「三番目の条件は何でしょう」と質問をしました。孔子が答えて「必ず嘘はつかない。嘘
をつかないから信頼を周りから持たれる。言ったら行動に移すし、行動が必ず結果をと
まなう。頑固一徹で頭が固くて、ちっとも柔らかいところがない小さな人物だなというもの
であっても、こういう事が出来れば人物であると言ってもよからう」と答えました。

子貢は最後に「政治家はいかがでしょうか」

(「斗」は一斗で、「筭」は小さいです。そうした容器で、はかれるような中身が小さな人物を言う)

孔子曰く「ああ、すぐ中身が見えてしまうような小さな人物ばかりなので、一人二人と数えるまでもないのが現在の政治家である」と答えました。

これはこのまま現代の政治家を評しているような気がします。ただ安倍さんは最近、重きを成してきて、一強多弱という言い方によって変わってきていますから、政治家の中でも安倍さんの足を引張ると、引張った方が叩かれるという現象が出てきています。ちょっと怖い気がします。

来年の展望

来年は甲午(こうご・きのえうま)でして、甲は『漢字の起源』の加藤常賢先生が書かれたものでは、草木の種が中から膨張して、皮がはじける音を甲という。安岡正篤先生は甲というのは鎧であるから、鎧をつけた草木の芽が殻を破って少し頭を出したという象形文字ですと解説をしておられます。

午は馬ですが、先ほどの加藤常賢先生は、杵でトントンつく音だと解説しています。白川静先生は、午は杵の形であるけれども、呪器として用いていた。呪器なので呪文を唱えるような文字であるという言い方です。安岡先生は、午は背くとか逆らうという意味であると言っておられています。

私はそこら辺を全部踏まえて、昨年一月の季刊誌『知足』に「平成26年は殻を破って新しい勢力が芽を出すけれども、足を引っ張る勢力があつてなかなか伸びない。伸び悩みの年」ということを昨年の一月に書かせて貰いました。解説は変更しないで伸び悩みの年であるという風に考えています。

現代の現象で置き換えてみると、来年の物価は上昇すると思っています。世の中のものは、だいたい上昇します。収入は増えない。支出はかさむ。税金は目に見えない形で、どんどん増税が進みます。高額所得者4%の人たちが払う所得税が、全体の半分以上を占めています。高額所得者からこれ以上取ったら、日本から逃げ出すということが現実味を帯びてくると思います。稼いだ分の6割取られて日本に居るかといわれると、どうでしょうか。どんどん逃げ出す人が増えるのではないかなという気がします。

前にも申し上げましたけれど、低所得者は本当に小刻みになっております。高所得、中所得者、低所得、全部目に見えない形で税金に悩まされる。酷いところでは、97歳の私の母ですが、介護保険税を年金から差し引かれています。3万か4万円の年金だったと思うのですが、1万近く介護保険税を取られています。目に見えない形の税金が増える。そうとう家計がきつくなります。

これからは一触即発ということが、色々な形で出ると思います。

中国の挑発行為はさらにエスカレートするし、韓国も中国の真似をして同じようなことをやり出しましたから、これは怖い。世界恐慌が起きる危険性が増えてくる。それに合わせて、戦争が本当に起きる危険性が急激に増しているという感じがします。そうなるやっておかなければいけないことは、例えば各自治体で相互支援協定を結んでいますが、個人も必要だと思います。親しい親戚に物資の相互支援協定とか、色々な形で送ってもらう。お互いに仲の良い親戚や知人とかと支援協定を結んでおく必要があると思います。万が一の時には役に立つのではないかという気が致します。